

# 雇用対策から定住促進を



世界的不況によ

解。

り、本町出身者の中

にもUターンする者が出てきた。雇用が確保出来れば、Uターンの定住を促進する大きなチャンスである。

また、働く意欲を持つ者が頑張れるような仕組み作りや支援が必要である。

① 幕別町・十勝管内のUターン者数と失業者・求職者数。

② 臨時的、恒久的雇用対策。

③ 経済状況が急変した。今後の企業誘致、起業支援の見解。雇用を創出しようとする民間企業に対する支援策。

④ 産業クラスター、リサーチ・アンド・ビジネスパーク構想や農工商連携促進法案等、地域産業の競争力強化や新産業創出を目的とする概念や制度がある。見解を伺う。

⑤ 忠類地区の公営住宅の考え。

⑥ 役場職員の中途採用の見

## 町長

① Uターン者数

については、幕別町、十勝管内ともに実数を把握することはできないが、本州における雇用調整の影響によりUターンされる方もいると考える。失業者数は、北海道全体の12月末現在で、12万1千人と推計されている。求職者数は1月末現在で、ハローワークによると、5千646人となっている。

② 雇用状況を見極めながら、町としてできる限りの臨時的な雇用対策に努めたい。恒久的な雇用対策は、事業主に對する奨励金の支給など、国や道が行っている対策は町村規模では難しく、これら支援制度の活用についてPRに努めたい。

③ 十勝の経済を下支えしている農業に関する企業を重点に誘致活動に取り組む。起業支援については、道や日本政策金融公庫から貸し

付けを受けた創業資金の利用者に対し、保証料及び利子の補給制度を実施したいと考えている。雇用を創出しようとするする民間企業に對する支援策については、町の助成制度や、国の制度の活用等PRに努める。

④ 町単独での取り組みは難

しいが、町内企業への情報提供、産学連携や異業種連携の橋渡しをしたい。

## 有害サイトから

## 未成年者を救うために



これまで、はじめ問題、不登校の問題が議論されてきた。これらの問題の要因として、近年では学校裏サイトを始めとする有害サイトへの「書き込み」がある。道内でも心ない「書き込み」によって、痛ましい事件が起こっている。インターネットは大変便利なものではあるが使い方と誤ると凶器にもなるし、犯罪にもつながる。

① 児童・生徒の現状と対応。

② PC等支援業の取り組み。

③ 有害サイトから未成年者を救うための取り組み。

④ 幕別町PTA連合会では、昨年、小学5年生、中学2年生を対象に、携帯電話の保有状況やインターネットの使用実態についてアンケート調査を実施し、その結果を保護者に報告した。保護者の意識の高さを示すものと考えている。

有害サイトへのアクセスや学校裏サイトにおけるネット上のいじめ等は、学校外でも行われていることから、学校、家庭、地域が連携して、児童生徒を見守る体制作りが必要である。今後とも、PTA連合会等と連携を深め、保護者や地域への啓発活動を積極的に推進したい。